



射水市立小杉中学校ボランティア活動報告

前期ボランティア委員会 活動内容

【今さら聞けない？SDGs!】

SDGsに関する基礎的な知識をクイズ形式で確認することで、全校生徒にSDGsの意味について再認識してもらうことができました。

【Let's challenge SDGs week!】

SDGs達成のために、個人で取り組める活動を紹介し、1週間でどのくらい意識して取り組めたか振り返りを行いました。「今さら聞けない？SDGs!」の活動後に行ったことで、意識的に取り組む生徒が多かったように感じます。

【ユニセフ募金】

世界の支援を必要としている子どもたちに学習道具や予防接種のお金を届けるためにユニセフ募金を行いました。また、募金の用途について掲示物や校内放送で伝えることで、遠い場所への支援に自分たちが役立つことができるのだという実感を伴った活動になったと思います。

前期ボランティア委員長 堀田 真央

後期ボランティア委員会 活動内容

【見つけよう身近なボランティア】

生徒一人一人が校内でできるボランティアを見つけ、全校生徒で実施することで、ボランティア活動への興味・関心を高めることができました。

【赤い羽根共同募金】

集めた募金が誰のために、何のために使われているかを事前に放送し、生徒のみなさんが赤い羽根共同募金のことをよく理解した上で、募金をしてもらいました。ボランティア委員会で数種類のポスターを作成し、掲示したことで、赤い羽根共同募金の認知度が高まったように感じます。

【ボランティアビンゴ】

「見つけよう身近なボランティア」で生徒のみなさんから募集したボランティア内容をビンゴ形式で取り組んでももらいました。多くの生徒が配付物の配付を手伝ったり、掃除の時間に関わらずゴミ拾いを行ったりと、楽しみながら友達や学校のためにボランティア活動をしている姿が印象的でした。

後期ボランティア委員長 黒田 悠真

多くの生徒が、積極的にユニセフ募金や赤い羽根共同募金に取り組んでくれたり、SDGsのクイズやボランティアビンゴを楽しんでくれたり、ボランティア委員会の活動に「少しでも協力しよう」という気持ちが伝わってきて嬉しかったです。前期、後期を通して様々な活動に取り組むことができました。今年度実施した活動での学びを活かして、小杉中学校にボランティア精神がさらにあふれてほしいと思いました。

